

# 福井城址公園の整備に向けて

県と福井市は平成25年3月に県都の長期構想である「県都デザイン戦略」を策定しました。この戦略に基づき、福井城址を城下町福井を象徴する最も重要な歴史資源として活かし、県都の新たなシンボルとする「福井城址公園」の整備を進めています。

県ではその第一歩として、平成25年度から福井城山里口御門の復元に取り組んでいます。

## 福井城

福井城は徳川家康の次男結城秀康によって、慶長11年（1606）に築城されました。城の縄張は、徳川家康が自ら行ったとも伝えられ、全国の大名が普請を手伝う天下普請により、4重、5重の堀に囲まれ、高さ約30m、4層5階の雄大な天守を備える壮大な城が築かれました。



「御城下之絵図 正徳四年」

(福井城周辺を切り抜き)

(松平文庫 福井県立図書館保管)

# 福井藩と福井城

福井城は、幕末まで福井藩越前松平家の居城となりました。福井藩は幕末四賢候の一人で藩政改革だけでなく、幕政改革にも力を尽くした第16代藩主松平春嶽公、明治新政府の基本方針となつた五箇条の御誓文の原案を作成した由利公正など、幕末から明治維新にかけて多くの人材を輩出し、近代日本の国づくりに大きく貢献しました。



松平春嶽  
(1828~1890)  
(福井市立郷土歴史博物館蔵)

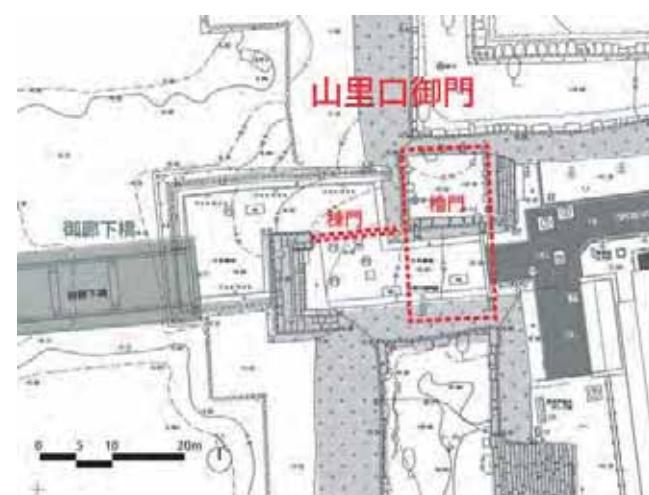


由利公正  
(1829~1909)  
(「子爵由利公正伝」より)

かつては規模の大きかった福井城ですが、明治時代以降に取り壊しや石垣の解体、お堀の埋め立てが進み、現在は、内堀と本丸の石垣、天守台等が残るのみとなっています。平成20年には藩主が西三の丸の御座所から本丸に登城する際に通行した御廊下橋が復元されました。現在復元を進めている山里口御門は御廊下橋との連続性を活かして復元を行うものです。



山里口御門の位置



山里口御門の配置



内堀と本丸の石垣



平成20年に復元された御廊下橋

# 福井城山里口御門の復元整備（1）

## 山里口御門

山里口御門は、福井城本丸西側の入口を守る門で、西二の丸の山里丸から、本丸への入口の門として、城の創建当時からつくられました。寛文9年（1669）の大火では、天守や櫓とともに焼失し、その後再建されました。西三の丸に御座所があった松平春嶽公などの時代には、藩主は御座所から御廊下橋を渡り、山里口御門をくぐって本丸へ向かったと考えられています。

高さ約3.6mの「棟門（むなもん）」と2階部分に切妻の長屋状の建物が乗る高さ約8.4mの「櫓門（やぐらもん）」からなり、これら2重の門と石垣で方形の空間を形成する門のことを「枡形門（ますがたもん）」と呼びます。枡形を形成する石垣は現在も残っています。

また、瓦や周囲の土塀の腰板は笏谷石で作られており、これは福井城の大きな特徴です。



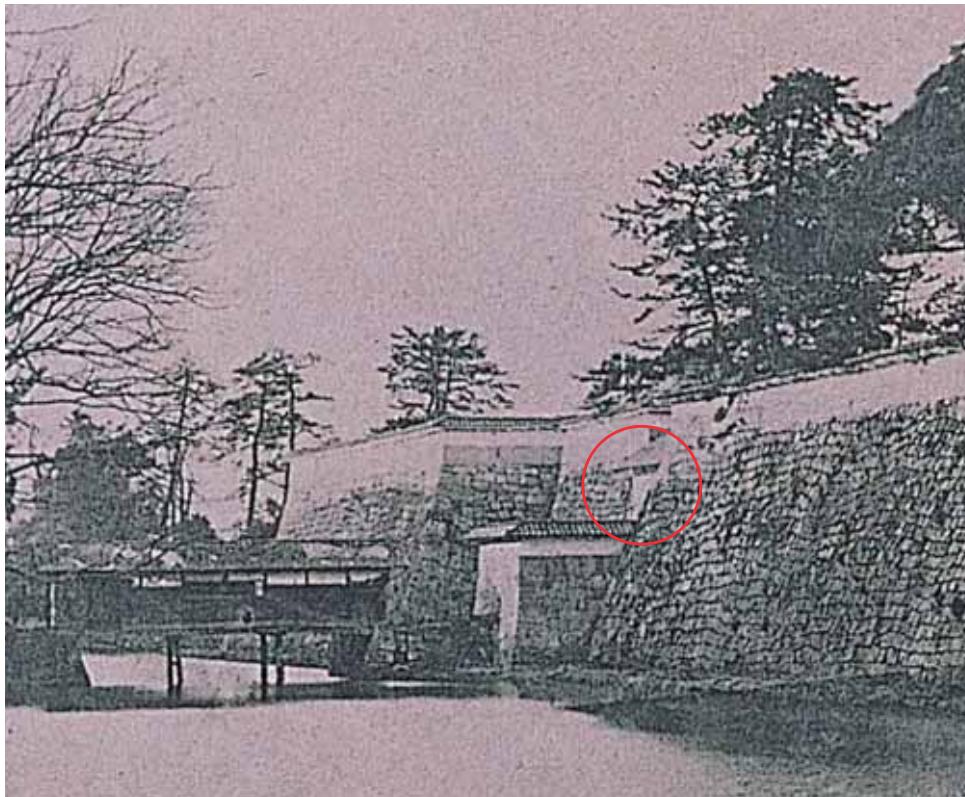
福井城山里口御門復元予想図

# 福井城山里口御門の復元整備（2）

## 山里口御門の復元

御門の復元に当たっては、古写真、絵図、文献等の史料調査、他城の類例調査や御門周辺の石垣に残る柱や瓦の跡、発掘調査で明らかになった礎石の配置等を基に設計を進めました。

〈古写真〉



「福井城古写真 旧福井城本丸御廊下橋之遠望」

（山里口御門、御廊下橋周辺を切り抜き）

（福井市春嶽公記念文庫 福井市立郷土歴史博物館蔵）

唯一山里口御門が写っている明治初期の写真、御廊下橋の先に山里口御門の屋根の一部が覗いています

〈代表的な絵図〉



「御城下之絵図 正徳四年」  
（福井城周辺を切り抜き）

（松平文庫 福井県立図書館保管）

棟門と櫓門で舟形を形成している様子が描かれています

〈発掘調査 平成25年7月〉



石垣の裾部では柱の礎石や排水溝等が確認されました



石垣の側面には柱や桁の跡が残っています

# 福井城山里口御門の復元整備（3）

## 山里口御門周辺の石垣調査

平成27年3月から9月末まで、御門周辺の石垣を解体しながら石垣内部の埋蔵文化財調査を行いました。

解体工事では、一層ずつ石垣を外しながら、石垣内部の埋蔵文化財を調査しています。

また、石垣から外した石も一つ一つ調査、記録しています。



石垣解体の作業状況（中央公園側から）



埋蔵文化財調査で発見された  
土壠の腰板石



石垣は1石ずつ解体



解体した石は作業ヤードで保管



手掘りで石垣背面盛土を掘削



石垣の断面

# お堀の魚のお引越し（平成26年11月12日）

工事用道路や作業ヤードをお堀内に造成するため、土のうで締切った御廊下橋の両側約2,200m<sup>2</sup>をポンプで排水し、締切範囲内の魚類等を範囲外に移動する作業を行いました。

水位が下がるとコイやフナが次々と姿を現し、県職員らが網で捕獲。種類ごとに数を確認後、締切範囲外に放流しました。80cm程の巨大なコイ、4cm程度のモツゴをはじめ、ナマズやアユも捕獲。魚類以外ではスジエビ、タニシ、ヤゴなども捕獲し、計6,000匹余りを移動しました。



作業の様子



コイ（約50匹）



モツゴ（約1,500匹）



ナマズ（1匹）



アユ（3匹）



外来種のブルーギル  
(約600匹)



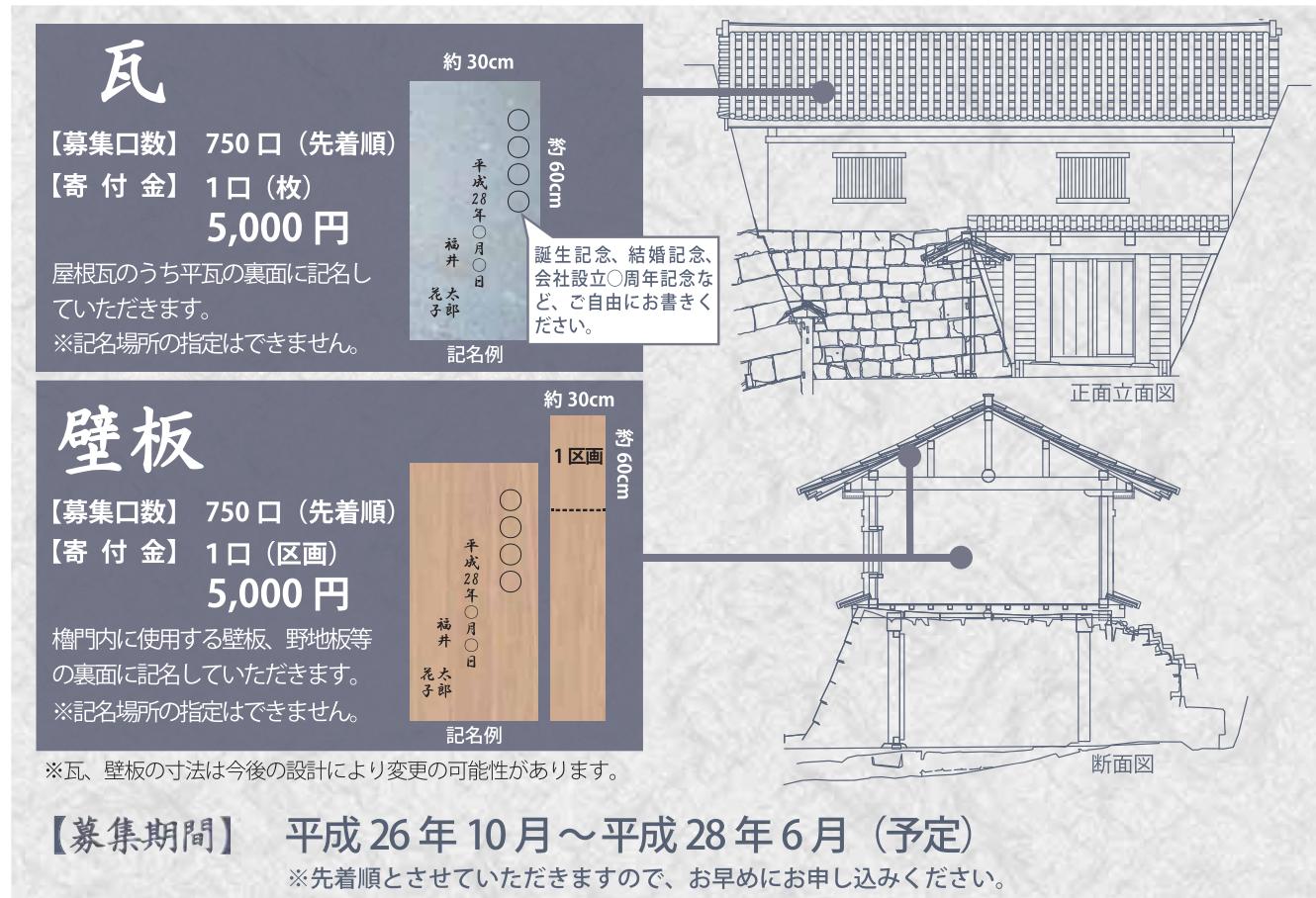
スジエビ（約800匹）

# 福井城山里口御門復元整備募金のご案内

次世代へ誇ることのできる立派な御門の復元のため、県民の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

## ①瓦・壁板記名募金のご案内

1口5,000円の寄附で、復元工事に使用する「瓦」または「壁板」の裏面に、お名前や記念のメッセージ等を残していただけます。



※「瓦・壁板記名募金」の個人からの寄附は、「ふるさと納税制度」の対象となります。また、法人からの寄附は、その全額が損金算入されます。パンフレットに添付の「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、最寄りのゆうちょ銀行でお支払ください。（払込手数料は無料です。）

## ②ワンコイン募金のご案内

1口500円の募金で、福井城ゆかりの記念品を8種類の中から1点進呈します。



募金箱設置箇所と記念品	
募金箱設置箇所等	記念品 (1口につき下記の中から1点)
福井県庁（1階受付） 福井市大手3丁目17-1 受付時間：8:30～17:15 電話番号：0776-20-0724 休 土日祝、年末年始（1月29日～1月3日）	①「山里口御門復元予想図」マグネット ②「福井城古写真 旧福井城本丸御廊下橋之遠望」マグネット ③「福居御城下絵図 貞享二年」マグネット ④「福居城下眺望図」クリアファイル ⑤「福井城下眺望図」クリアファイル ⑥「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ⑦「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ⑧「太政官札」しおり ⑨「太政官札」しおり
福井県立文書館 福井市下馬町51-1 受付時間：9:00～17:00 電話番号：0776-33-8890 休 第4木曜（1月26日）、祝日の翌日（土日祝日は除く）、第4木曜（1月26日）、祝日の翌日（土日祝日は除く）、年末年始（1月29日～1月3日） ※他にも臨時休館する場合があります	⑩「福居御城下絵図 貞享二年」マグネット ⑪「福居城下眺望図」クリアファイル ⑫「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ⑬「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ⑭「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ⑮「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ⑯「太政官札」しおり ⑰「太政官札」しおり
福井県立歴史博物館 福井市大手2丁目19-15 受付時間：9:00～17:00 ※入館は16:30まで 電話番号：0776-22-4675 休 第2・4水曜、年末年始（1月29日～1月3日） ※他にも臨時休館する場合があります	⑱「福井城古写真 旧福井城本丸御廊下橋之遠望」マグネット ⑲「馬頭屏風」クリアファイル ⑳「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ㉑「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ㉒「福井城幕末の先人たち」手ぬぐい ㉓「太政官札」しおり ㉔「太政官札」しおり
郵送 寄付額分の定額小為替、ご希望の記念品と送付先を書いたメモを同封のうえ、下記までお送りください	全種類
クラウドファンディング（インターネット） ジャパンギビングホームページ（http://japaniving.jp/p/1771） よりお申し込みください（クレジットカード決済となります） ※クラウドファンディングでの個人からの寄付は「ふるさと納税制度」の対象 않습니다 また、法人からの寄付はその額が損金算入されます	全8点セット（4,000円）

### お問い合わせ

福井県総合政策部交通まちづくり課

TEL: 0776-20-0724